

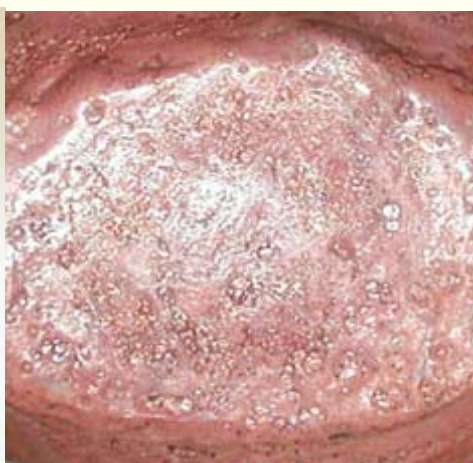
いやな味の茶碗

「茶碗にお茶を注ぐといやな味がしたのですが、このまま使っても大丈夫でしょうか？」という相談がよせられました。持ち込まれた茶碗の内側は底の上薬が何カ所もはがれ、水が漏れる状態でした。

食品衛生法には陶磁器の規格基準が定められています。今回持ち込まれた茶碗の場合は、4%の酢酸を満たして24時間放置したとき液中のカドミウムと鉛の濃度が各々0.1ppm以下でなければなりません。検査の結果は基準を満たしており問題はありませんでした。



相談に持ち込まれた茶碗



茶碗の底内部

ただ、容器に満たした酢酸がわずかに黄色に着色していました。参考のために規格基準にはありませんが液中の銅、マンガン、亜鉛、鉄の濃度についても測定しました。結果は表のとおりで銅が8.4ppmと高い値を示しました。

表 液中の重金属濃度 単位 ppm

銅	マンガン	亜鉛	鉄
8.4	0.1	0.02	0.2

銅は微量必須元素で、成人の1日の必要量は約2mgです。人体に対する毒性は低いと言われています。

ただ、茶碗底の状態から判断すると茶器として使用するには不向きなようです。装飾品だったのかもしれませんが。

購入の際には、必要があれば用途について確認した方が良いでしょう。